

身近な環境問題について関心を抱くきっかけに

神内小がごみ収集の様子を見学

神内小学校は9月10日、同小学校付近のごみボックスで
ごみ収集の見学をしました。

これは、自分たちの出すごみがどのようにして運ばれて
いくのかを見学することにより、収集している人たちの苦
労やごみ処理の問題点について考えられるように、また身
近な環境問題についても関心をもてるようになるために毎
年行っているものです。

児童たちは、職員がごみをごみ収集車に入れる様子を見た
後、ごみボックスの数やごみ収集車の容量などの質問をし、
職員が丁寧に答えていました。

児童たちは「職員の人たちが重そうなおみ袋を片手で軽々
と持っていてすごい」などと感想を話していました。



ごみ収集の様子を眺める児童たち

Town topics

9 / 10



もやし結びを体験する子どもたち

防災意識を高めよう

自衛隊が防災啓発活動を行う

自衛隊三重地方協力本部熊野地域事務所は8月14日、ウ
ミガメ公園で防災啓発活動を行いました。

これは風水害など危機に面した際に、正しい対応を身に着
け、防災意識を高めてもらうために開催されました。

参加した人たちは、命綱の結び方教室
や令和2年7月豪雨災害派遣、新型コロナ
ウイルス感染症に対する災害派遣など
のパネル展を通して、自衛隊活動に理解
を深めていました。

Town topics

8 / 14



山際さんに記念品を贈る西田町長

Town topics

9 / 7

敬老の日を前に高齢者訪問

山際さんの100歳の長寿を祝う

西田町長は9月7日、今年でめでたく100歳を迎える神内
の山際きみへさんを訪問し、記念品と祝い金を贈りました。

山際さんは大正9年5月10日に和歌山県北山村で生ま
れ、中学生のときに新宮市へ移住。20歳で結婚し、3人
の子どもに恵まれました。平成20年から神内で暮らす次女宅
で同居しています。現在は、週2回のデイサービスを利用
しながら、在宅での生活を送っています。

山際さんに元気の秘訣と楽しみを伺ったところ「食べるこ
ととデイサービス」と話していました。

町では、年内に81歳以上となる人を高齢者祝い金の対象
としており、今年は、1,250人が対象で、そのうち100歳
のお祝いの対象は5人でした。



01



02

01. くす玉を割って除幕を
祝う。02. 河口付近に建立
された記念碑。

Town topics

9 / 5

「命の道」熊野川河口大橋架橋を記念し建立

熊野川河口大橋記念碑除幕式を開催

町は9月5日、まなびの郷きらめきホールで、「熊野川河
口大橋」記念碑除幕式を開催しました。

式典には、二階俊博衆議院議員をはじめ、鈴木英敬三重
県知事、吉岡国土交通省道路局長、三重県・和歌山県両
議会議員、町議会議員、架橋虹の会のみなさまなど多くの
の方々にご出席いただきました。

記念碑は、この地域に防災・医療・地域連携強化と観光・
産業振興など多大なる恩恵をもたらす「命の道」である、
熊野川河口大橋の架橋を記念し、建立したものです。

正面の題字「熊野川河口大橋」は、二階俊博衆議院議員
に揮毫いただき、背面には、熊野川河口大橋建設までの歩
みを記述しています。



01



03



02



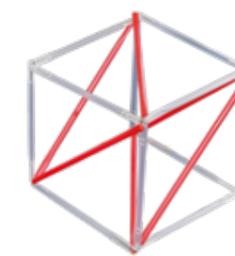
05



06

Town topics

9 / 3・7



耐震について学ぶストローハウス

01. 防災紙芝居を聞く児童たち。
02. ダンゴムシのポーズになって揺
れに対応。03. 児童にハイゼックス
炊飯を説明。04. 液状化現象を体験。
05. 完成したストローハウスを積み
上げる。06. 完成した非常食用の
ケーキのおいさをかく児童。

自然災害から身を守るため

井田小が防災教育活動を行う

井田小学校は防災教育として、9月3日に起震車による
地震体験、7日に防災紙芝居や液状化実験、非常用炊飯の
方法など、防災教育活動を行いました。

これは、いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震や津
波、頻発する台風や局地的大雨などの自然災害から、適切
な判断で自分自身を守り、児童1人ひとりの防災力の強化
を図ることを目的として行われました。

児童たちは、講師として訪れた井田自主防災会・県教育委
員会などの説明を受けながら、地震体験や液状化実験、防
災紙芝居、耐震について学ぶストローハウス作りなど、真剣な
表情で取り組み、防災への意識を高めていました。